



サクラ (主な品種)

江戸時代からの桜の名所である隅田公園には約 20 種のサクラがあります。その中でも主な 8 種のサクラについて、特徴や歴史、花の時期等を解説いたします。



オオシマザクラ

大島桜

4月上旬葉が開くのと同時に純白で一重の大輪の花を咲かせます。葉が大きくて肉厚。つぼみは毛がなくつるつる。香り成分が多くて漬け込むことによりクマリン(香り成分)が出るため、桜餅の葉として利用されます。



フゲンゾウ

普賢象

見ごろは4月下旬。淡紅白色の大輪八重の花を咲かせます。2本ある雌しべの先が普賢菩薩の乗る象に似ているのでこの名がつけられたといわれています。室町時代からあったといわれる園芸品種です。



ソメイヨシノ

染井吉野

お花見の代表的なサクラ。葉が出る前に花を咲かせます。エドヒガンとオオシマザクラの交配種といわれています。ソメイヨシノ同士は遺伝子が同じなので、枝の重なりを気にせず、横に広く枝を伸ばします。



ウコン

鬱金

見ごろは4月中旬。八重の大輪で、花は淡黄緑色(クリーム色)をしています。ウコンで染めた色に似ているのでこの名がつけられました。



ギョイコウ

御衣黄

見ごろは4月中旬。黄緑色の中輪八重の花を咲かせます。花びらに緑色の筋が入る特徴があります。古くから荒川堤で栽培されていた品種です。



タイハク

太白

見ごろは4月上旬。一重咲きの大輪。白色で先端付近には細かい切れ込みが多く、全体に皺状のうねりがあります。日本ではこの品種は失われており、イギリスのイングラム氏より穂木を贈られ繁殖をしました。



カンザン

関山

見ごろは4月中旬～5月中旬。紅色の八重桜。大輪。花は塩漬けにされ、アンパンのヘソや桜湯に利用されます。



イチヨウ

一葉

見ごろは4月中旬～5月初旬。雌しべが普通1個で、下半分が緑色の葉状に変化するという特徴を持ちます。

アジサイ (主な品種)

隅田公園アジサイロードとして様々な種類のアジサイが植えられています。スミダノハナビは花の姿を隅田川の花火大会に例えたといわれています。



ホンアジサイ

ウズアジサイ



ウメ (主な品種)

園内には約 150 本の梅があり、なかでも梅めぐり散歩には約 100 本の梅があります。紅梅や白梅、枝垂れ、紅白に咲きわける品種などの梅が鑑賞できます。



紅千鳥 ベにちどり



呉羽枝垂れ くれはしだれ

スミダノハナビ



アナベル



南高 なんこう



思いのまま



花木の一年について

隅田公園は年間を通じて花木の鑑賞できます。四季折々の表情をお楽しみください。

種類	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サクラ													
ソメイヨシノ													
タイハク													
オオシマザクラ													
ベニシダレ													
カンザン													
フゲンゾウ													
ギョイコウ													
イチヨウ													
ウコン													
アジサイ													
ホンアジサイ													
ウズアジサイ													
スミダノハナビ													
アナベル													
ウメ													
べにちどり													
くれはしだれ													
なんこう													
おもいのまま													

隅田公園千年桜プロジェクト



隅田公園では「千年桜」(三春滝桜※品種はベニシダレ)の子孫木を公園の”シンボルツリー”として守り・育て、次の世代へ受け継いでいくプロジェクトを推進しています。

ボランティアの方々の協力を得て、桜の管理や、樹のまわりに菜の花やコスモスを育てるなど様々な活動を行っております。

